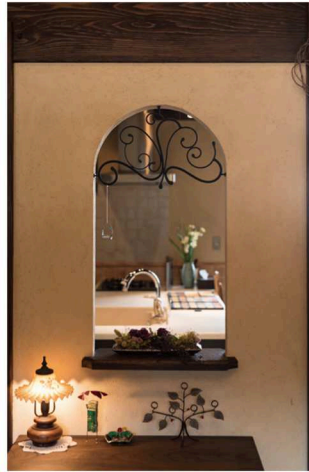


築140年のモデル住宅 スタジオ「風のくら」



部屋の扉や窓辺にさりげなくあしらわれたスタン
ドグラス。福岡在住の作家・牧野ゆみさんにも
制作を依頼している



土間とキッチンを仕切る壁には、アーチが印象的
な窓を設け、アイアのオブジェを設置。室内にも
ドラマチックな「抜け感」を演出



土間の床に貼ったタイルはイタリア製。アクセントとして壁に
貼ったレンガはなんと久留米製。世界各地から「これは」とい
う素材を集めて家づくりに取り入れている

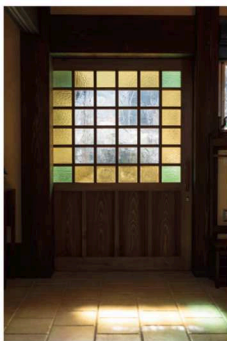
まで数々の古民家再生に立ち会っ
てきた代表の三上さん。またそう
した魅力をさらに飛躍させるた
め、例えば古民家らしいポイント
の梁は、残せるものは残し、そこに
新しい梁を加えながら耐震性を
アップさせる。壁には、調湿・断熱
効果に優れたスペイン製の西洋漆
喰を7・8mmの厚さで塗り、アン
ティークな雰囲気や漂わせなが
ら、四季の寒暖差による住みにく
さを解消する。キッチンやバスル
ーム、洗面という水回りには最新式
のシステムを導入し、快適なくら
しを実現させるなど、古民家に抱
きかちな「住みやすさ」をスマート
に解消している。

「古民家だからといって、何もか
も昔のままを守らなければとい
うルールはないのです。インテリア
に洋風のものを取り入れても良い
ですし、快適な設備を投入するこ
とで、古民家をさらに楽しむこと
ができる。また古民家には、時間を
経つことに、さらに味わい深くな
るといふ喜びがある点も見逃せま
せんね。実は探せばまだまだ、磨け
ば光る「原石」はあちこちらに
残っており、新築よりも手の届く
価格のものも多い。そうした「相
談も、ぜひ気軽に寄せていただい
たらと思います」。



株式会社ハウスランド社 (Huseland)
TEL 092-922-8771 (和の家「言木」)

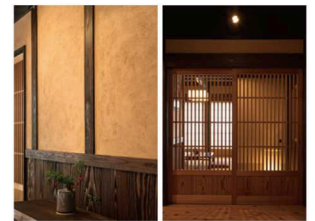
福岡県春日市天神山2-83
http://www.h-land.jp/
●詳しい情報は00ページに掲載



太陽の光を、スタンドグラスを通して部屋の中にも取り入
れて、明るさだけではない光の使い方も、家づくりの参考
にしてみたい

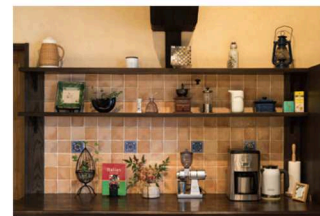


古民家「和の家」という
固定概念を変えて
新しい住宅へ



古民家を100年先に親し
まれる住空間へ。そこで「ハウスラン
ド社」が提案しているのが、「古民
家「和の家」にとらわれないリノ
ベーションだ。この「風のくら」にも
見られるように、室内には国内だ
けでなく西洋の素材が採用され、
現代の暮らしを快適にするための
機能も巧みに取り入れられてい
る。その組み合わせはもちろん「唯
一無二」のものだ。

「不思議なもので、古民家には、
様々なテイストを受け入れられる
柔軟性があります。また古いもの、
新しいもの、どちらも引き立てる
魅力も持っているんです」と、これ



【右】モダンなシステムキッチンも違和感なくマッチ。
【上】キッチンの奥に設置した食器棚はハウスランド社
の逸作。上部にはオープンな棚を設け、タイルを貼り、
お気に入りのモノをディスプレイできるスペースに

